

現役部員とOBの対抗戦の結果

七大戦が6月29日～7月1日に実施されることから、その前に団体戦の試合感覚を取り戻してもらうために現役部員とOBの対抗戦を実施しましたので結果をご報告します。

日 時：6月24日（日）9：30－15：40

場 所：九州大学 伊都キャンパステニスコート

OBチーム参加者

1. 末吉 徹也 (S61卒)
2. 三宅 秀信 (H4卒)
3. 前原 伸一郎 (H10卒)
4. 加藤 尚 (H17卒)
5. 柿原 勇介 (H19卒)
6. 菅 弘樹 (H23卒)
7. 田上 慧史 (H23卒)
8. 中牟田 康 (S59卒)

| | OB チーム | 5-5 D1-2、S4-3 | 現役部員チーム |
|----|--------|------------------|------------------|
| D1 | 三宅・前原 | 64 36 26 | 杉本(1年)、伊藤(1年) |
| D2 | 菅・田上 | 76(3) 75 | 豊國(想)(2年)、尾形(2年) |
| D3 | 末吉・加藤 | 16 63 16 | 奥山(3年)、鬼澤(1年) |
| S1 | 柿原 勇介 | 66 ret | 杉本 勇勅(1年) |
| S2 | 三宅 秀信 | 63 64 | 豊國 想太(2年) |
| S3 | 菅 弘樹 | 60 57 61 | 尾形 桐弥(2年) |
| S4 | 田上 慧史 | 64 61 | 本田 真也(2年) |
| S5 | 前原 伸一郎 | 36 67(1) | 鬼澤 諒介(1年) |
| S6 | 加藤 尚 | 26 16 | 伊藤 壮顕(1年) |
| S7 | 末吉 徹也 | 16 16 | 奥山 晃大(3年) |
| S8 | 中牟田 康 | 61 67(4)打ち切り | 豊國 廉太(4年) |

当日は最高気温 29℃で残暑の中での厳しい条件でしたが、OBのみなさまは文字通り身体を張って現役部員と試合をしてくださいました。

末吉君は、OBチームの人数が足りないので、大阪からわざわざ駆けつけてくださいました。菅君と田上君の若手OBが参加してくれて、現役部員と対等の試合ができました。

このように、多くのOBの熱意のおかげで、対抗戦を実施することができました。参加して下さったOBのみなさまに感謝します。



現役部員チーム



OBチーム

以下に、それぞれの試合のOBのアドバイスを記載しました。試合をしたOBの話の中牟田が聞き取り、記載したものです。厳しい言葉もありますが、ご了承ください。

D1 三宅、前原 64 36 26 杉本(1年)伊藤(1年)

【OBのアドバイス】

杉本君のフォアハンドとスピンサーブ、伊藤君のボレーとスマッシュが良かった。穴がなかった。これらの長所を伸ばして欲しい。

ダブルスとしてのポイントを取るバリエーションを増やして欲しい。



左から前原君、三宅君、杉本君、伊藤君

D2 菅、田上 76(3) 75 豊國(想)(2年)尾形(2年)

【OBのアドバイス】

勝負所で第一サーブをコースに入れる、リターンを必ず返球するというプレーをやって欲しい。ずっと同じプレーをしていた。一本化調子だった。

プレッシャーのかかる大事な場面でポイントを取るために序盤にやっておくべきことを考えておくこと。今日の試合は競っていたが、最後は大事なポイントを落としていた。



左から田上君、菅君、豊國君、尾形君

D3 末吉、加藤 16 63 16 奥山(3年)鬼澤(1年)

【OBのアドバイス】

サーブリターンが良いので、押されてしまった。鬼塚君の第二サーブが良いので、攻めきれなかった。

リターンミスをもう少し減らしたほうが良い。



左から加藤君、末吉君、鬼澤君、奥山君

S1 柿原勇介 6-6ret 杉本 勇勅(1年)

【OBのアドバイス】

せっかく強烈なスピンのストロークを持っているのだから、まずはコートの中に入れて徐々に相手を追い込んでいったほうが良い。ミスが早い。

ネットへの出方は良い。

全体的に丁寧プレーしたほうが良い。

タイブレークになって、杉本君が左ふくらはぎに違和感を覚えました。試合が近いことから無理させないために打ち切りました。



左から杉本君、柿原君

S2 三宅秀信 63 64 豊國 想太(2年)

【OBのアドバイス】

フォアハンドストロークを打つ時に、身体が浮いている。しっかり踏ん張って打ったほうが良い。浅いボールを処理する際に、サイドアウトが多かった。もったいない。



左から豊國君、三宅君

S3 菅弘樹 60 57 61 尾形桐弥(2年)

【OBのアドバイス】

第一セットでフォアハンドストロークのミスが多すぎる。修正できずに終わってしまった。自分で自信を持ってポイントを取れる形を作ること。

ファイナルセットに入ったときに自分のやるべきことをしっかり決めておくこと。



左から菅君、尾形君

S4 田上慧史 64 61 本田真也(2年)

【OBのアドバイス】

バックハンドストロークがスライスなので相手に狙われる。相手に狙われたときに一本しのぐショットを覚えてraitたい。

第一サービスの確率が悪い。

フォアのアプローチショットのネットミスが多いと打点を高くするか、膝を曲げて打つこと。



左から田上君、本田君

S5 前原伸一郎 36 67(1) 鬼澤 諒介(1年)

【OBのアドバイス】

サービスは曲がって来るので良いものを持っている。単発のミスが多い。試合の後半は修正していた。

せっかく両手打ちバックハンドストロークを持っているのに、片手スライスでつなぐのはもったいない。

力があると感じた。



左から前原君、鬼澤君

S6 加藤尚 26 16 伊藤壮頭(1年)

【OBのアドバイス】

サービスがバックに入って来ない。コースを散らしたほうが良い。

ボレーがうまいので、前に出てしっかり決めて欲しい。

アプローチショットのミスが時々あった。



左から伊藤君、加藤君

S7 末吉徹也 16 16 奥山晃大(3年)

【OBのアドバイス】

浅くて低いボールの処理をうまくやって欲しい。アプローチを打つのか、エースを取りに行くのか、スライスで打つのか。

昨年と比べて精神的に強くなった。2、3ポイント先行されても取り返していた。

昨年のリベンジをされてしまった。(昨年は接戦の末、末吉君が勝っていました)。



左から奥山君、末吉君

S8 中牟田康 61 67(4)豊國廉太(4年)

【OBのアドバイス】

第一セットのミスが多すぎ。もっと試合の序盤を大事にすること。

豊國君が 12:30 から TOEIC の試験を受ける必要があったので、第二セット終了時点で試合を打ち切りました。(豊國君は大学院への進学を希望しています。大学院の試験科目の一つとして TOEIC の成績があるので、試験を優先しました。)



左から豊國君、中牟田

なお、伊南陽介君(2年)は、大分県テニストーナメント(全日本テニス選手権の西日本大会の出場権をかけた大分県の大会)に出場するため、今回の対抗戦には参加しませんでした。伊南陽介君は最近、一般のトーナメントに積極的に出場して、実力をつけています。

6月29日～7月1日に北海道で七大戦が開催されます。今年は選手層が厚くなっているので、上位入賞を狙えると思います。1年生はまだ経験不足ですが、上級生のサポートを受けて、活躍してもらいたいと思います。

みなさま、応援をよろしくお願いいたします。

